



《20. 11. 25 第151号》

健民運動 かわら版



発行：石川県健民運動推進
金沢市鞍月1丁目1番地
県民文化局県民生活課内
TEL 076-225-1388

ホームページ [健民運動](#) [検索](#)

(E-mail)kenmin-i@pref.ishikawa.lg.jp

～毎月第3日曜日は家庭の日です。家族とのふれあいを大切にしましょう～

◇鼓 動

ケータイのコウザイ

石川県青少年育成推進指導員連絡会 会長 赤池 嘉久

◇健康体力づくり活動の推進

- ・健民運動体力づくり出前講座が各地で開催されました。
- ・健康体力づくり講習会の企画・アイデアを募集しています。

◇環境・文化活動の推進

- ・ふるさとのツバメ総調査作品、「ツバメのお宿シール」原画の表彰式が行われました。
- ・ふるさとのツバメ総調査作品展、「ツバメのお宿シール」原画展が開催されました。
- ・第44回花いっぱいコンクール写真パネル展が開催されました。
- ・「花いっぱいのつどい」が開催されました。
- ・桜の苗木植樹の報告書が届きました。
- ・省エネルギー講座が開催されました。

◇青少年健全育成活動の推進

- ・少年の主張全国大会の努力賞が伝達されました。
- ・「家庭の日」絵画・ポスターコンクール展と表彰式が開催されました。
- ・第11回子どもドリームフェスティバルが開催されます。



「家庭の日」絵画ポスターコンクール表彰式
於：県庁19階展望ロビー

◇健民運動紹介・奨励コーナー

- ・2008年第30回ユニセフ募金の協力をお願いします。

◇県民ボランティアセンターだより

◇健民運動カレンダー

◇薫 風

いしかわの森づくり推進月間

石川県林業研究グループ連絡協議会 会長 坂本 ちづる

鼓 動

ケータイのコウザイ

石川県青少年育成推進指導員連絡会

会長 赤池 嘉久



青少年の健全な成長を願い、見守っている大人の一人として日頃感じていることを述べてみたいと思う。

1 携帯電話の市民権

いまや携帯電話は「ケータイ」の名称で知られ、老若男女を問わずその普及は目を見張るものがある。そこでこの「コウザイ」（功罪）をしっかりと把握しておくことも大切であろうと思う。

2 青少年育成推進指導員の活動

私たち石川県青少年育成推進指導員は、県内の全市町に数名ずつ、県知事から委嘱された100余名が活動している。施策事業のうち毎年、青少年健全育成のために「ブロック会議」を主催している。これは、県内を六つの地域に分け、それぞれの地域で青少年を取り巻く環境の状況に応じて問題点を洗い出し、対策を考えようという主旨から実施しているものである。

3 平成20年度のブロック会議

今年度も7月から8月にかけて行われたが、各地域のテーマは次のとおりである。

- ①「サイバー犯罪と情報モラル等について」
- ②「携帯電話＝安全・安心の知識」
- ③「学校裏サイト等と子ども達」
- ④「心に届くコミュニケーション・スキル」
- ⑤「18歳は大人？子ども？」
- ⑥「インターネットの光と影」

この結果、時世を反映してかケータイやインターネットに関するテーマが4ブロックで取り上げられて目立つ内容となった。

4 会議から示された今後の課題

前述のブロック会議で共通してクローズアップされた問題は「ケータイについて保護者・子どもの双方に危険性への意識がない。」ということ。また、「保護者と子どもの間にケータイに対する意識の違いがある。」ということである。

つまり、保護者はケータイを連絡用の電話として子どもに安心して与えているが、子どもは電話として使用することは殆どなく、インターネットやメールやゲームを中心に使用しているのが実情である。このことから、アダルトサイトや出会い系サイトなど有害情報に触れる危険性がケータイには大いに潜んでいるという訳である。

ケータイも使い方によっては有益なモノであり、決してマイナス面ばかりではないが大人世代は、例えば「フィルタリング」などにもっと関心を寄せて、青少年を健全に導いていくべきであろうと思っている。

健康体力つくり活動の推進

◇健民運動健康体力づくり出前講座が各地で開催されました。



実施団体の体力づくりの要請を受け、石川県健民運動推進本部が指導者を派遣し、実施団体で用意された会場で健康体力づくりの講座が、開催されてきました。

11月21日(金)午前
中能登町で開催された出前講座



今年度は、7月から始まり12月までに12団体からの要請がありました。

この講座をとおしてみなさんの体力づくりに対する関心の深さが伺えます。

※ 2月末まで受け付けています。

◇健康体力づくり講習会の企画・アイデアを募集しています。

健民運動推進本部では、体力づくり運動推進事業として、生涯を通して生きがいのある生活を送れるよう、健康・体力づくりに関する指導者やリーダーを養成し、健康・体力づくりの一層の推進を図ることを目的に健康体力づくり講習会を開催しています。

今年度は、平成21年1月中旬に開催を予定しております。健康・体力づくりに関して、こんなお話が聞きたい、こんな実技講習をやって欲しい等の要望や企画に関してのアイデアを募集しています。



12月末までに、下記の健民運動推進本部事務局まで、ご連絡ください。

TEL 076-225-1388

FAX 076-225-1389

Mail: kenmin-i@pref.ishikawa.lg.jp

環境・文化活動の推進

◇ふるさとのツバメ総調査作品、「ツバメのお宿シール」原画の表彰式が行われました。



11月16日（日）県庁19階展望ロビーにおいて児童たちが、ふるさとのツバメ総調査実施後にまとめた感想文や記録・観察の作品から優秀な作品に対し、健民運動推進本部の多賀憲二事務局長からそれぞれに表彰状が授与されました。また併せて平成21年度に使用される「ツバメのお宿シール」原画の優秀作品の表彰も行われました。

◇ふるさとのツバメ総調査作品展、「ツバメのお宿シール」原画展が開催されました。



感想文の部



どの作品もツバメの実態や地域の様子を丁寧に記録・観察した作品で皆さんの頑張りが伝わってきます。

今年も、たくさんの小学生から平成21年度に使用する「ツバメのお宿シール」の原画の応募がありました。応募数は県下全域から1,121件でした。どの作品も、ほのぼのとしたツバメの様子が描かれています。



◇第44回花いっぱいコンクール写真パネル展が開催されました。



本年度、8市8町より花いっぱいコンクールに応募のあった81件の花壇を写真パネルとした展示会が11月11日から16日まで県庁19階展望ロビーにおいて開催されました。どの花壇も、みなさんが花を慈しみ、丹精に世話をされた様子うかがえる作品ばかりでした。

来年度も、「花いっぱい運動」がさらに広がり、多くの皆さんが応募されることを期待します。

◇「花いっぱいのつどい」が開催されました。

11月16日（日）午後、県庁19階展望ロビーにおいて、「花いっぱいのつどい」が開催されました。はじめに健民運動推進本部の事務局長のあいさつ、来賓の紹介と続き、その後今年度の花いっぱいコンクールの表彰式が行われ、最優秀賞（2件）、優秀賞（10件）、奨励賞（19件）が授与されました。



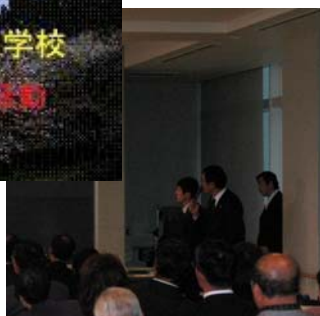
審査員講評



優秀花壇の紹介

表彰式の後、審査委員長の戸出実石川花の会会長の講評があり、同会の中堀宏昭副会长からは優秀花壇の紹介がありました。

また、最優秀賞を受賞された白山市立鶴来中学校、中能登町立鹿島中学校が、これまでの花づくりに関わる体験の様子をマルチスクリーンに映し出し、生徒たちや保護者の皆さんの活動を紹介しました。



◇桜の苗木の植樹の報告書が届きました。

11月7日、桜の苗木を応募のあった方々に送付しましたが、早速、一生懸命に植樹されている様子などの報告書が届きました。

その内容については、今後、随時紙面で紹介する予定です。



ちょっといい話

参加者が、5年後・10年後の景観を想像しながら、植樹しているのを見ると、事業を導入してよかったと感じました。

◇省エネリサイクル講座が開催されました。

11月19日（水）輪島市のJA町野町健康増進施設において、省エネリサイクル講座が開催されました。講座では、石川県地球温暖化防止推進委員の二口良江さんが講義をされ、自らが所属する「石川県くらしと環境を考える会」の皆さんの日常的な取り組みについて説明がありました。その中で、環境にやさしい料理法として鍋料理を取り上げ、その環境に対する効果としては、①地産地消の食材を使用する。②食べ残しが少ない。③後片づけの時に水が少なくて済む。④廃水が汚れにくい。といったメリットがあると説明がありました。



ネクタイで作ったマイバッグ



チラシ広告で作った封筒



また、自前で古ネクタイから作ったエコバッグやチラシ広告の紙から作った封筒など、使い古しの身近なものを再利用した事例の紹介もあり、最後に「私たちは、祖父母などから、『物には命がある』と教わってきた。この教えを大切に守りながら、今度は、私たちが後世の人たちの『環境の羅針盤』となれるよう日々努力しましょう。」と語り、講座を締めくくりました。

青少年健全育成活動の推進

◇少年の主張全国大会の努力賞が伝達されました。

平成20年度「少年の主張石川大会」で最優秀賞になった七尾市立御祓中学校2年の杉田佑夏さんが「少年の主張全国大会～わたしの主張2008～」へ推薦され、努力賞を受賞しました。

その表彰伝達が11月16日県庁19階の展望ロビーにおいて行われ受賞後、杉田さんは“十四歳の私「働く」を考える”を皆さんの前で発表しました。



◇「家庭の日」絵画・ポスターコンクール展と表彰式が 開催されました。



11月16日（日）県庁19階展望ロビー交流コーナーにおいて、「家庭の日」絵画・ポスターコンクールの表彰式が行われ、優秀賞（11点）、佳作（20点）に選ばれた31名の方に健民運動推進本部の事務局長より、表彰状が授与されました。
入賞者の作品は、同展望ロビーに11月11日から16日まで展示されました。



◇第11回子どもドリームフェスティバルが開催されます。

子どもたちの「夢」の発表会である、第11回子どもドリームフェスティバルが次の日程で開催されます。

日 時 平成21年1月18日（日） 開演：13時30分
場 所 石川県立音楽堂 邦楽ホール
入場料 無料

「子どもドリームフェスティバル事業」は、明日の石川県を担う健全で想像力豊かな青少年の成長を願い、子どもたちが日頃抱いている「夢」を仲間とともに、地域の人々の協力や専門家の方々の支援を受けながら、子どもたち自身の力で実現させる事業です。
今年度は、68件の夢の応募の中から7つの夢を選定しました。

子どもたちが、いろいろな人と関わり頑張って実現した「夢」を紹介します。

○自分たちで洋服をデザインし、作成して着たい。 （加賀市立橋立小学校）

11月2日（日）、子どもたちが、自分たちで洋服をデザインし、作成してファッションショーを開きました。クラスでの話し合いの時の子どもたちの表情は、生き生きとしていました。

子どもたちは、夢を叶えるのに努力が必要だということをこの体験を通じて学びました。



○大きな絵本を作りたい。

(津幡とくの幼稚園)



11月11日(火)午前、津幡とくの幼稚園で子どもたちが作成した大きな絵本が発表されました。

子どもたちが経験した「代かき」「田植え」「稲刈り」「脱穀」から「思ったこと」「感じたこと」「伝えたいこと」などを、それぞれ見開き2ページずつにして大型絵本を制作しました。

この絵本は、閉じた状態で高さ約150cm、幅約90cmの大きさです。

○金沢城で剣舞・日舞を踊りたい

(泉の台幼稚園)

11月11日(火)午後、金沢城の三の丸をバックに子どもたちが剣舞「ああ金沢城」「白虎隊」、日舞「月のお姫様」「お月様」を踊りました。

たくさんの皆さんが見に来てくれました。

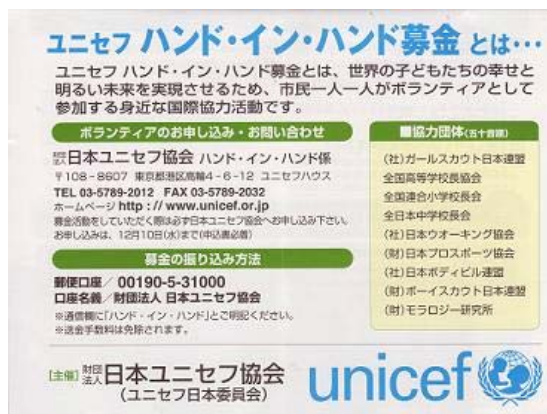


健民運動紹介・奨励コーナー

◇2008年第30回ユニセフ募金の協力をお願いします。

今年は、アフリカの子どもたちの命を守るために、日本全国みんなの手と手を結び、支援の輪を大きく広げることを目的に実施されます。

ぜひ、年末の募金キャンペーンにご協力ください。



問い合わせ

(財)日本ユニセフ協会 団体・組織事業部 ハンド・イン・ハンド担当
加藤朱明子

県民ボランティアセンターだより

＊ 収集物（１１月分）＊

＜使用済み切手＞

医療対策課、金沢県税事務所納税課、厚生政策課、自然保護課、
生涯学習課、障害保健福祉課、総務課、統計情報室



計 ８ 件

ご協力ありがとうございました。

ご提供いただきました使用済み切手、書き損じはがきにつきましては、さまざまな支援を必要としている人々に役立てていただいております。ぜひお寄せください。

＊ ひとこと ＊

朝、夕冷えこむ季節となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。
当センターでは、「つくろうネットワーク いしかわのNPO・ボランティア交流名簿2008」
を発行しました。石川県内の512団体の情報を記載しております。
ネットワークづくりやそれぞれの地域でのボランティア活動にどうぞお役立てください。

（財）石川県県民ボランティアセンター

〒920-0962

金沢市広坂2丁目1番1号 石川県広坂庁舎 4階

tel:076-223-9558 fax:076-223-9559

e-mail:e130500a@pref.ishikawa.lg.jp

12月の健民運動カレンダー



12／7（日）9:00～

第113回金沢城公園石垣めぐりウォーク

於：金沢市・松ヶ枝公民館 主催：石川県歩こう会連絡協議会

12／14（日）13:30～

第14回子どもと本との出会いを求めて

於：輪島市立図書館 主催：石川子ども文庫連絡会

12／14（日）10:00～

平成20年度石川県ゲートボール協会表彰伝達式・納会

於：健民スポレクプラザ 主催：石川県ゲートボール協会

【本部事業】

12／18（木）11:00～12:00

平成20年度石川県健民運動青少年ボランティア賞表彰式

於：石川県庁行政庁舎 第1109会議室



いしかわの森づくり推進月間

石川県林業研究グループ連絡協議会

会長 坂本 ちづる

平成19年度から「いしかわ森林環境税」の導入を機に、石川県では、毎年10月を「いしかわの森づくり推進月間」と定め、森の恵みに感謝し、豊かな森を次世代に引き継ぐため、多くの県民の参加を得て、県内各地域で様々な森づくり活動を展開し、県民全体で支える森づくりを進めることとしています。

今年も輪島市では、豊かな漁業資源の回復をめざす「漁民の森づくり」、白山麓スーパー林道周辺では、ブナ林を健全に育てるための除伐等の「ブナの森づくり」、加賀市県民の森では、緑豊かな水源を守り育てるための「ケヤキの森づくり」と地域ごとに特色のある森づくりを行うとともに、ふるさとの森を未来へつなごうと高校生によるスギの枝打ち作業、広葉樹の植樹や里山を守るための桜の植樹活動が行われました。また、間伐材を利用した木工作や竹林整備等、金沢市や白山市による森づくりや「のと共栄信用金庫、北陸電力、コープいしかわ」等の企業による森づくり活動も開催されました。



各地区の林業研究グループにおいても、地域ごとに企画協力し、森づくり活動等を行いました。中でも、木を植える機会は現代生活の中であまりないので、野外でスコップ片手に皆で協力して行う作業は、「参加して大変良かった」「これからの成長が楽しみだ」等、とても好評でした。これを機会に大人はもちろん、子どもたちにも山に興味を持ってもらえればと願います。

様々な形でより多くの県民にご参加いただけるよう、森林・林業関係者が一丸となって取り組んだこれらの活動により、森林の役割や森林整備の意義、効果等についての理解が、広く県民に深まっていくことや県民による森づくり活動の輪が益々広がることを期待しております。

毎月7日は「健康の日」です。
～歩くことから健康づくり、運動することを習慣にしましょう。～



毎月第3日曜日は「家庭の日」です
～ 家族とのふれあいを大切にしましょう ～